

信州大学医学部附属病院 泌尿器科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術に硬膜外麻酔と定時鎮痛薬を使用することは効果的な鎮痛を可能とするか～術後の早期離床から検証する～」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術に硬膜外麻酔と定時鎮痛薬を使用することは効果的な鎮痛を可能とするか～術後の早期離床から検証する～
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 看護部
研究責任者(職名)	西 7 階病棟 宮澤 愛理
研究実施期間	医学部長による許可日～2028 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	手術後の痛みのコントロールに対し鎮痛薬を定時で使用し、痛みの軽減を行っている。定時で鎮痛薬を使用することは、術後の早期離床に効果があるかを検証する。
対象となる方	2023 年 1 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日の期間に当院でロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、離床までの日数、痛みの程度、手術時間
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、疼痛管理の効果について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 西7階病棟 宮澤 愛理 電話:0263-37-2774

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。2026 年 8 月 31 日までであれば、いつでもお断りいただけます。期限を過ぎてのお申し出は、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。